

北海道新幹線開業戦略推進会議
平成 26 年度第 4 回交通戦略部会 議事概要

■日 時 平成 27 年 3 月 13 日（金）13 時 30 分～14 時 30 分
■場 所 かでる 2・7 1050 会議室

■議事概要

1 北海道新幹線開業に向けた道内交通ネットワーク整備指針について
2 道予算の概要について

（事務局）

～資料 1 及び資料 2 にもとづき説明～

（座長）

- 只今の説明について、ご質問・ご意見等あればお願いしたい。
- 資料 2 で予算のことを説明したが、このうち、1 が整備指針における「Ⅱ 情報提供機能の整備」に関する道の予算事業であり、2～5 が「Ⅰ 移動環境の整備」に関する道の予算事業である。なお、1～4 は、国の交付決定前であり、最終的には国の交付決定を受けて実施することとなるので、ご理解いただきたい。
- 整備指針の取りまとめにあたり、取組状況について情報提供いただき、公表できないものもあるが、様々な取組が進んでいることを改めて情報を整理することができた。感謝申し上げます。
- 今後は、非公表の部分も含めて、皆さんと取組を進め、新幹線開業を迎えたいと考えている。
- 整備指針案についてご意見はないか。
（意見なし）
それではこの内容で 3 月 17 日の開業戦略推進会議に諮りたい。
- 道の予算事業については、国の交付決定を受けた後に進めて参りたい。事業の企画・実施に当たっては、部会構成機関の皆様にご相談させていただくこともあろうかと思うので、その際はご協力をお願いしたい。また、進捗状況については、この部会で適宜、情報共有を図って参りたい。

3 平成 27 年度のスケジュールについて

（事務局）

～資料 3 にもとづき説明～

（座長）

- 只今の説明について、ご質問・ご意見等あればお願いしたい。

（北海道経済連合会）

- 開業戦略推進会議には、この部会のほか、親会議、幹事会、情報連携部会があるが、それらをあわせたスケジュールが決まっていれば、教えていただきたい。

(座長)

- 来年度の全体スケジュールについては、来週の親会議の後に検討に入ると思うが、まずは交通戦略部会としてのスケジュール感をお示ししたところ。
- 横の連携を図りながら取り組んで参りたいと考えており、全体スケジュールをできるだけ早くお示しできるよう調整して参りたい。

(北海道経済連合会)

- 情報連携部会は今年度のスケジュールが示されないままスタートしており、いつもスケジュールが無い中で進められているが、是非、連携を図って進めていただきたい。

(北海道経済連合会)

- 開業日の対応についての検討が、交通戦略部会の取組としてあるが、具体的にこの部会で検討する意味合いは何か。

(座長)

- 北陸新幹線の開業時には、いわゆる「おもてなし」として駅前や駅構内で様々なイベントが企画されているが、もう一つ重要なこととして、新幹線でいらした方をいかに円滑に次の交通機関にご案内するかということがあり、我々としては、北陸新幹線開業の様子についてそうした観点で視察する予定である。この交通戦略部会では、交通の面からの取組を議論していきたい。

(北海道経済連合会)

- 駅前や駅構内のおもてなしについては、情報連携部会とも連携して取り組むことになると思うが、窓口はどちらなのか？

(座長)

- 全体は情報連携部会となり、交通案内などの交通の部分をこの部会で議論していく。例えば、青森の場合は、開業当初、駅構内に案内をするスタッフを置いていた。そうした事例や、今回の北陸新幹線開業時の事例も踏まえて、どういう対応が必要かを情報連携部会とも情報共有しながら考えていきたい。

(北海道地区レンタカー協会連合会)

- 資料2の予算の関係だが、このうち二次交通整備事業について、もう少し具体的に説明してほしい。

(事務局)

- この事業では、地域ごとに進められている様々な検討・取組を支援したいと考えており、委託事業として実施する予定である。契約は4月以降となるが、それまでに各地域の取組の洗い出しを行っているところであり、今後、事業の中身が定まっていく。現時点では、どこ地域のこういった取組を支援するかは未定であるが、定まり次第、情報共有したい。

(座長)

- この度、整備指針を策定し、各エリアの検討・取組の方向性について皆さんと合意したところだが、この合意に沿った取組について、今後、この二次交通整備事業を活用して、地域の取組を促進したい。今年度は、道の事業として、バスやタクシー・レンタカーの実証運行などを行ったが、整備指針において定めたエリアごとの方向性に沿って、市町村や観光関係者など地域の関係者の方々に、新函館北斗駅からどのようにお客さん呼び込むかということを考えてもらいたい。現在、地域にその投げかけ

をしており、地域からの提案を踏まえて、それを手助けするような取組をしていきたいと思っている。

(北海道経済連合会)

- いよいよ来年度末に開業となるが、他県の例では、会議ばかりでなかなか取組が前に進まず、担当者が会議に追われて、連絡がとれないほど忙しくなると聞いている。メール等で情報共有を図ることで会議の開催が不要となることもあるので工夫してほしい。
- 会議よりは、地域と連携したワーキンググループ的な話し合いの時間が非常に重要と考える。集めた資料をこの場で読むといった会議ではなく、もう少し掘り下げたものを各地で進めていただいて、そこから出てきた課題などをこの場で掘り下げて行ければ良いと考えている。
- この会議体を含めて、新幹線開業に向けての話し合いの場のスピードアップや掘り下げというものをもう少し急いで進めていく必要がある。北陸の取組状況と比べて、1年前にこれで大丈夫かという面もあるかもしれないので、是非、スピードアップをお願いしたい。

(座長)

- 情報共有の仕方や掘り下げ方については、考えていく。
- 他にご意見等があればご発言いただきたい。
(意見なし)
ご意見がなければ、このようなスケジュールで進めていきたいので、ご協力をお願いします。

4 その他

(北海道新幹線新函館開業対策推進機構)

～開業PRリーフレットについての情報提供～

- 参考までにインバウンド用のリーフレットをお持ちした。これは、我々が2年前のシンガポール旅行博に出展した際に配布したものをベースに、判明している情報を追加してリリースし、4月の台湾の旅行博に持って行く予定のもの。
- それぞれの団体によって事情があると思うので、このまま使えないということはあると思うが、この中で使用する意向がある団体があれば、データを提供するので、ご活用いただきたい。

(座長)

- インバウンド対応については、前回の会議においてご意見をいただいたところであり、情報連携部会の取組になるが、HPやパンフレット等を道の予算で外国語版の作成を予定している。

(座長)

- 事務局から2点情報提供する。

(事務局)

～参考資料に基づき説明～

- ・ 新幹線駅からの交通手段の検討・取組状況（主なもの）
- ・ 新函館北斗駅に降りる道外客の推計について

(座長)

- 只今のご説明について、ご意見・ご質問等あればご発言いただきたい。

(北海道新幹線新函館開業対策推進機構)

- この会議でも何度かお話しているが、新幹線利用者の推計など、参考の数字はあくまでも参考という方がよろしいのではないか。様々な計算の仕方、数字の出し方がある。我々が見ている数字はもっとシビアなもの。新函館北斗駅の改札を出て降り立つ数というのは。根拠となる数字も用意しているので、参考にしたいという団体があればお声かけいただければ、すぐにでも提供することは可能である。
- 交通機関の分担率についても、経済的負担を考慮していないものであり、タクシーで新函館北斗駅から函館市街地までいくらかかるかを考慮せずに回答を求めているもの。これが5千円以上かかるという情報が加わった場合に、5.8%もタクシーを選択するのかということ。見方・考え方は様々あって良いし、参考にされることも自由であるが、情報には様々な種類があるので、留意いただきたい。
- また、これまでの様々な調査の中で、道の観光局が委託調査でまとめた推計値もあるが、細かい数字は公表されていない。この部会では総合政策部の調査の推計値が出されているが、同じ組織で調査しているのだから、行政としては、ともに公表して皆さんの材料にするということが大事な姿勢ではないかと受け入れ環境の整備に取り組んでいる者として、常々感じているところ。
せっかく様々な団体が経費をかけて調査しているので、皆が、「こういう出し方・見方があるな」と考えられるようにしてほしい。以上、希望として申し伝える。

(座長)

- 前回の会議でもお話したように、様々な調査があり、また季節によって変動もある。道では、過去にも調査を実施しているが、その調査ではレンタカーがもう少し高い割合であるなど、様々な数字がある。あくまでも参考の一つとしてご活用いただければと思う。実態を踏まえた対応は当然必要になるので、開業後の実態を踏まえて、この部会などを通じて皆さんと考えていければと考えている。

(座長)

- このほかにご意見・ご質問、情報提供等があれば、ご発言いただきたい。

(北海道観光振興機構)

- 資料2の予算に関し、二次交通ネットワーク関係の事業について、道としてトータル1億円程度予算措置し、開業に向けて取り組まれるわけだが、富山県や石川県における交通ネットワーク関係の開業前1年間の取組にかかる予算規模について情報があれば教えてほしい。道の予算が多いのか少ないのかが分からないので、もし分かれば教えてほしい。

(座長)

- 調べた上で、お知らせするが、道としては、開業に向けて必要な予算は確保していると考えている。

(七飯町)

～道の駅整備に関する情報提供～

- 整備指針にも書かれているように、交通と観光施設の連携、新函館北斗駅の南側の

駐車場に大型バス用のスペース 20 台分が確保されているが、それに加えて、1 月に国の「重点道の駅候補」として選定され、七飯町が整備を行うこととなる。具体的には 26 年度の国の地方創生の予算を活用し、補正予算で基本設計を予算措置した。27 年度中に基本設計をし、できれば 28 年には実施設計と実施という形で、29 年度内には道の駅を完成させたい。そこには大型観光バスの駅前への待機を含めて、道の駅で待機できるよう対応して参りたい。

- 道が整備している新函館北斗駅北口の停車場線と国道 5 号の接続地にある「昆布館」付近に、道の駅を設置する。そうすると既存の昆布館の駐車場、ファーストフード店の駐車場、七飯町道の駅というエリアが、今後、観光と交通網の拠点になり得ると考えている。

(北海道地区レンタカー協会連合会)

- 資料 2 の予算に関して、道内航空路線開設支援事業の補助金とは、どのようなものなのか。差し支え無ければ教えてほしい

(事務局)

- 道内の航空路線開設等の周知のための PR 経費や、空港へのカウンターを設置等の初期投資などについて支援するもの。

(座長)

- 本日ご了承いただいた整備指針案については、来週の親会議に諮って参りたい。また、今後は、先ほどご説明したスケジュールに沿って、交通戦略部会を運営していきたいので、ご協力をお願いします。以上で本日の会議を終了する。